

はじめに

他の三人の月例報告書はおしゃれですよ。「適当に写真貼っただけです〜」って言ったのに、しっかりおしゃれに仕上げているので驚いています。私だけ無機質な報告書で恥ずかしい限りです。母にも指摘されたので、今回は気合を入れて作成したいと思っています。

台湾の生活に慣れてきて、お腹の調子もよくなりました。授業のペースにも慣れてきて、何を言っているかわからないなりについていっていると思います。授業の様子や学校での出来事は他の三人がきれいにまとめてくれていると思うので、そちらを参考にしてください。



台湾の若者文化

もともと日本の文化が好まれており、日本のファッションやお店がたくさんあります。3年前に来た時よりも目に付くようになったものは、韓国の文化です。台湾も日本と同様に韓国ブームで、韓国のアイドル、ドラマ、ファッションが人気です。その結果、台湾の若者文化は日本と韓国のごちゃ混ぜでまだオリジナリティがない印象を受けます。これから、日本と韓国をいい感じにブレンドして、「台湾らしい」文化ができあがっていくのではないかと予想しています。今はちょうど過渡期でこれから台湾文化がブームになるかもと考えるとワクワクしますね。



よく見かける大学生男子
前上ぱつんツープロ
眼鏡も必須アイテム



最近流行りの韓国風
センター分け男子
台湾人特有の顔の濃い感じと韓国風が混ざるともかっこいい

就活

台湾師範大学では、企業が直接きてブースを作り企業説明会をしていました。頭のいい大学は企業から来るのかと羨ましく思いました。

帰国後すぐに卒業し3月から就職のため、現在台湾にてオンラインで就職活動中です。台湾に来たばかりのころは頑張って就活していましたが、両立ができずメンタルがボロボロになったので、一旦中断していました。しかし、3月の終わりごろからメンタルに余裕が出てきたので、ゆっくり再開し始めました。留学中に就活をする方もいると思いますが、1社1社丁寧に選考に臨むことをおすすめします。

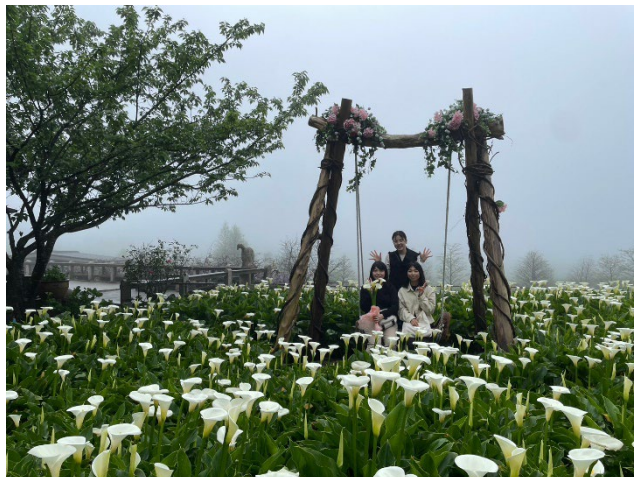


休日

① 自然を満喫

台北は浜松よりも都会で自然が少ないため、自然が恋しくなります。休日は、郊外に行って自然を満喫しています。電車やバスで1時間程移動すれば、すぐに郊外に出ることができます。

陽明山に行ったとき
満員爆速で山道を駆け上がるバスは
まるでジェットコースター



② 芸術文化に勤しむ

台湾には多くの美術館や博物館があり、留学中に行きたいところは何件もあります。今月は台北市立美術館に行きました。

台湾では日本統治時代に建てられた建物が多く残っており、それらの多くが美術館や何かしらの展示スペースとして活用されています。町並みや建物など日本統治時代のことが色濃く残されており、台湾は日本に統治されていた時代があったことを再認識させられます。こうした建物を見ると日本では学ぶことができない、戦時中の歴史を学ぶきっかけになります。



③ お散歩



ドリンクスタンドでジュースを買って、市内をぶらぶらとお散歩することが好きです。かわいい雑貨が売っていたり、おいしそうな物が売っていたりと歩いていて飽きない街です。日本の昭和時代を思い出させるような(生きたことはないですが)台湾のノスタルジックな町並みが私のお気に入りです。

